

議案第 10 号

高規格救急自動車の購入について

高規格救急自動車を買入れることについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年野田市条例第7号）第3条の規定により、議会の議決を求める。

- |     |             |                                              |
|-----|-------------|----------------------------------------------|
| 1   | 契 約 の 目 的   | 動産の買入れ                                       |
| (1) | 動 産 名       | 高規格救急自動車                                     |
| (2) | 数 量         | 1 台                                          |
| 2   | 契 約 の 方 法   | 指名競争入札                                       |
| 3   | 契 約 金 額     | 金45, 100, 000円                               |
| 4   | 契 約 の 相 手 方 | 野田市中野台鹿島町25番地の1<br>千葉トヨタ自動車株式会社<br>野田店長 中橋 健 |

令和8年6月10日提出

野田市長 鈴木 有

#### 提案理由

救急業務の需要の増加に対応するため、新たな高規格救急自動車を購入することに併せ、既存の高規格救急自動車を活用し、南分署に日勤救急隊を配備しようとするものである。

## 物 品 購 入 契 約 書

## 1 購 入 品 目

(単位：円)

| 品 名      | 規 格       | 数 量 | 金 額          |
|----------|-----------|-----|--------------|
| 高規格救急自動車 | 別添仕様書のとおり | 1 台 | 41, 000, 000 |
| 以下余白     |           |     |              |
|          |           |     |              |
|          |           |     |              |
|          |           |     |              |

2 納 入 場 所 野田市消防本部

3 納 入 期 限 令和9年2月28日

4 契 約 金 額 金45, 100, 000円

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額4, 100, 000円)

5 契 約 保 証 金 免除

6 契 約 不 適 合 責 任 期 間 物品納入引渡しの日から起算して1年間

上記の物品購入について、発注者 野田市 と受注者 千葉トヨタ自動車株式会社は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の条項によって公正な購入契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

なお、この契約は「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」（昭和39年野田市条例第7号）により議会の議決を得たとき効力を生ずるものとする。ただし、議会の議決を得られないとき、この契約は無効となり発注者は損害賠償の責は負わない。

本契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発 注 者 住所 野田市鶴奉7番地の1  
氏名 野田市  
野田市長 鈴木 有

受 注 者 住所 野田市中野台鹿島町25番地の1  
氏名 千葉トヨタ自動車株式会社  
野田店長 中橋 健

# 入 札 結 果 表

|         |                   |                                       |
|---------|-------------------|---------------------------------------|
| 開 札 日 時 | 令和8年5月22日 午後2時00分 |                                       |
| 開 札 場 所 | 野田市役所高層棟5階 OA研修室  |                                       |
| 落 札 者   | 千葉トヨタ自動車株式会社      |                                       |
| 落 札 価 格 | 税込み               | 45, 100, 000円 (うち消費税等の額 4, 100, 000円) |
|         | 税抜き               | 41, 000, 000円                         |

(単位:千円)

| 業 者 名         | 第1回    | 第2回 |  |  |
|---------------|--------|-----|--|--|
| (株)赤尾         | 失格     |     |  |  |
| エイバン商事(株)     | 45,000 |     |  |  |
| ジーエムいちはら工業(株) | 辞退     |     |  |  |
| 千葉トヨタ自動車(株)   | 41,000 | 落札  |  |  |
| 千葉日産自動車(株)    | 辞退     |     |  |  |
| 日本船舶薬品(株)     | 辞退     |     |  |  |
| 船山(株)         | 辞退     |     |  |  |
| (株)モリタ        | 辞退     |     |  |  |

(消費税等の額を除く。)

令和8年度

高規格救急自動車  
仕様概要書

野田市消防本部

## 高規格救急自動車仕様概要書

### 第1 車両本体

- 1 車両本体は、以下の要件を満たすこと。
- 2 ホイルベース 2, 900 mm以上3, 200 mm以下
- 3 車両総重量 3, 400 kg以下（車両総重量3, 400 kgを超える場合は、積載品等について、別途協議すること。）
- 4 乗車定員 7名
- 5 完成車の主要諸元
  - (1) 全 長 5, 700 mm以下
  - (2) 全 幅 1, 900 mm以下
  - (3) 全 高 2, 600 mm以下
  - (4) 患者室内長 3, 300 mm以上
  - (5) 患者室内幅 1, 600 mm以上
  - (6) 患者室内高 1, 800 mm以上
  - (7) トレッド前 1, 600 mm以上
  - (8) トレッド後 1, 630 mm以上
  - (9) 最小回転半径 6, 100 mm以下
  - (10) 両側スライド 5ドア
  - (11) サスペンション 救急車専用設計仕様

### 6 型式

- (1) ガソリンエンジン
- (2) 駆動方式 四輪駆動（フルタイム）
- (3) 総排気量 2, 400 cc以上
- (4) 最高出力（PS） ネット140PS以上
- (5) ミッション 電子制御式オートマチック
- (6)オルタネーター 150A以上
- (7) バッテリー 120Ah（20時間率）以上もしくは52Ah×2（5時間率）以上
- (8) 燃料タンク 65L以上
- (9) タイヤ
  - ① ラジアルタイヤ 4本（標準装備）
  - ② スタッドレスタイヤ 4本（ホイール付）
  - ③ ホイールキャップもしくはセンターキャップ 8個

### 第2 外装装備品

- 1 フロントグリル中央部に直径150mm消防マークを取り付けること。
- 2 フロント及びリヤの警光灯は標準装備の大型散光式赤色警光灯（LED式）を設けること。
- 3 フロントバンパー上部左右及び左右側面に大型散光式赤色警光灯と連動する補助LED警光灯（フロントバンパー上部左右は側面からも視認

- 可能な厚みのあるもの)を取り付けること。
- 4 車両の周囲に赤外線もしくは超音波方式センサーを必要数取付け、障害物の接近を警告音で知らせる装置を取り付けること。
  - 5 スモールランプに連動して点灯するLED路肩灯を左右リヤホイールの前に取り付け、解除スイッチを運転席に取り付けること。
  - 6 フォグランプを左右に取り付けること。
  - 7 バックドア及びスライドドアに半ドア防止装置を取り付けること。
  - 8 リアステップに滑り止め加工を施し、バンパーに傷つき防止の保護板を取り付けること。
  - 9 左右サイドミラーは大型のものを取り付け、左側に助手席用のアウトサイドミラーを取り付けること。
  - 10 リヤバンパー右側もしくは左側に外部電力入力用（AC100V）の強力な大型のパナソニック社製WCH1720マグネットコンセント（10mコード1本用意）を取り付けること。
  - 11 大阪サイレン社製5SA型モーターサイレンを取り付けること。また、運転席に手動式スイッチを取り付け、助手席に足踏み式スイッチを取り付けること。なお、下部の配線に断線防止カバーを取り付けること。
  - 12 サイドフラッシャーランプを車体前方の両側面に設置し、ウインカー連動で真横の車両に限らず遠くの車両からも視認可能な両側面ハイルーフ部に取り付けもしくはターンランプ付電動格納式ドアミラーを取り付けること。
  - 13 運転席及び助手席に大型のサイドバイザーを取り付けること。
  - 14 救助工具資機材一式を積載すること。
  - 15 「R」レンジと連動する後退警告（音声合成）装置を解除スイッチ付きで取り付けること。
  - 16 左右ルーフサイド前後にLED作業灯を取り付けること。また、室内にLED作業灯のスイッチを左右別に取り付けること。（赤色機能付き灯火兼用も可とする）
  - 17 ヘッドライトはLED灯とし、ロービームは自動で光軸調整ができる機能を取り付けること。
  - 18 車両スライドドアは解放時ロック機能を設けること。解放時ロック機能は、ドアハンドルの操作に連動してロック機能が解除される構造とし、下り勾配停車時においても閉鎖する事故等を防げる構造であること。
  - 19 安全運転を支援するため、ITSCONNECTを搭載すること。
  - 20 安全装備を可能な限り取り付けること。

### 第3 運転室

- 1 電流計・電圧計を照明付きで取り付けること。
- 2 最新のメモリナビゲーションシステムを取り付けること。
- 3 ETC（音声ガイダンス機能付き）の設置及びセットアップ（登録費用を含む。）を行うこと。

- 4 ドアの施錠・解錠は、スイッチ操作で全てのドアが施錠・解錠できるものを取り付けること。
- 5 電子サイレンアンプは、音質切替装置及び音声合成装置付きとし、音声メッセージスイッチを運転席と助手席の中央部で取り扱いが容易な場所に取り付けること。なお、音声メッセージは別途指示により設定すること。
- 6 運転席右側上部にスイッチ付きフレキシブルマイクロフォンを取り付けること。
- 7 運転席シートと助手席シートの間にA3サイズの地図が収納できる物入れ及び、小物が収納できる物入れを取り付けること。
- 8 助手席用の補助ルームミラーを取り付けること。
- 9 助手席ドア上部にフレキシブルのマップランプ及び、助手席上部にLED灯を取り付けること。また、天井部に小物を収納できる網棚及びグローブボックスを取り付けること。
- 10 運転席及び助手席後部付近にヘルメットホルダ及びフックを必要数取り付けること（ヘルメットフォルダはC型バネ付きフックもしくは、マグネット式フックを使用し、取り付けについて別途協議すること）。
- 11 運転席後部もしくは患者室内に滑り出し防止付きで地図入れを取り付けること。（取り付けについて別途協議すること）
- 12 運転席及び助手席ステップにアルミ縞板を滑り止め付きで取り付けること。
- 13 フロントガラス上部、リアガラス上部に最新型のドライブレコーダーカメラを取り付けること。また、記録媒体を2個（うち1個は本体装着）付属すること。
- 14 外部電源入力中は、エンジンスタートができないようスターターカットをインジケータランプ及び警報音付きで取り付けること。
- 15 運転席から車両後方が確認できるデジタルインナーミラーを取り付けること。
- 16 全周囲性の画像をモニターで確認できる安全装備を取り付けること。

#### 第4 患者室内装備

- 1 医療棚及び防振ストレッチャー架台を設置すること。
- 2 メインストレッチャーは、ファーノ4080-S/4155とし、付属品を取り付けること。
- 3 ファーノ社製ハイテクバックボード及びスクープストレッチャーの収納庫を防振ストレッチャー架台右側に設けること。それぞれがバックドア側及び室内から取り出し及び固定収納できる構造とすること。なお、固定装置は、面ファスナーを使用しないこと。
- 4 前向き・横向きシートにシートベルトを取り付けること。
- 5 左右側面窓ガラス及び後面窓ガラスは、くもりガラスにくもりフィルム貼りとし、車外から患者室の様子が視認できない仕様で貼り付けること。

- 6 運転席後方位置に大型収納庫を取り付け、収納庫内に、高さ調節及び取り外し可能な棚を可能な限り取り付けること。また、大型収納庫の扉を運転室と患者室を隔壁できる扉（隔壁扉に両面に鉄板加工艤装施す）とし、患者室の様子が確認できる小窓を設置すること。なお大型収納庫は、運転席側スライドドア側からも収納物を取り出せる構造であること。
- 7 天井中央部前後にアシストバー及びルーフネットを必要数取り付けること。また、後部に輸液ビンホルダーを取り付けること。
- 8 横向きシート下部に収納庫を取り付けること。
- 9 スライドドアステップ底部にアルミ縞板を滑り止め付きで取り付けること。
- 10 酸素ボンベ収納庫上部にトレイ又は収納庫を取り付けること。
- 11 ルーフサイドにアクリル扉収納庫をアシストグリップ付きで必要数取り付けること。
- 12 手洗い装置にかえて、自動心臓マッサージ器が収納できる資機材収納庫及び手指消毒剤収納庫を助手席後方位置に設けること。また、自動心臓マッサージ器を収納庫に収めた状態で充電可能な位置に電源を設けること。
- 13 前向きシートは、ハイバックとする。シート下部に2 L酸素ボンベ1本及びA B C 6型消火器が固定できる装置を取り付けること。ただし取り付けを変更する場合は別途協議すること。
- 14 医療機器の電源として使用可能な正弦波インバーター300W以上を取り付けること。ただし、後述16の仕様を重視すること。
- 15 車両が待機中に車両用バッテリーを充電できる車載用器具を取り付け、外部電源を取り付けること。
- 16 標準装備のほか、AC100Vコンセントを必要数増設し、全ての積載する医療機器がACコンセント方式で電源を確保すること。ただし、吸引器については構造上AC・DC2系統のコンセントを取り付けること。なお、DC12V出力コンセントが車両待機中に外部電源（AC100V）を用いて使用できる構造で取り付けること。
- 17 電波時計及び温湿度計を取り付けること。
- 18 天井にLED室内灯を前後左右の4か所に取り付けること。また、オンオフスイッチ及び調光器を患者室内に取り付けること。
- 19 角度調整機能付患者灯を天井中央の左右に各1灯、バックドアにスポットランプ1灯をスイッチ付きで取り付けること。なお、バックドアのスポットランプは、切替えによりバックドア開放に連動した作動も可能とすること。
- 20 医療棚に加湿流量計オキシパックOX-ⅢSを取り付けること。また、患者室内に川重型2個の並列酸素取り出し口を増設すること。
- 21 スクープストレッチャーモデル65EXLピン付きタイプをヘッドイモビライザーの台座付きで取り付けること。（標準サブストレッチャーは別途指示）

- 22 医療棚に低台座を設けること。
- 23 医療棚に輸液ポンプ用の電源（AC100V対応）を確保し、支柱を取り付けること。さらに、ウェルチ・アレン社製ウォール型血圧計を固定金具で、操作しやすい位置に取り付けること。
- 24 吸引器「パワーミニックⅡ」を取り付けること。
- 25 医療用酸素器具は標準積載品とし、その他付属品として当本部が指定する物品を積載すること。
- 26 ペーパータオルホルダーを取り付けること。場所は別途指示。
- 27 医療棚に低台座を設け、台座上部にベッドサイドモニター（BSM-3562）の電源を確保し取り付けること。また、車両待機中に外部入力されたAC電源で利用できる構造とすること。
- 28 収納庫及び書類入れを必要数取り付け、収納庫の内面にクッション材を貼り付けし、収納庫の1か所は施錠装置を取り付けること。
- 29 バックドア開口高は1650mm以上とし、バックドア開口部左側に大型グリップを取り付けること。また、バックドア開口時に地上高約1.8mの位置に閉口用ストラップを取り付けること。ただし取り付けを変更する場合は別途協議すること。
- 30 ヘルメット固定器具を必要数取り付けすること。また、脱着式ホワイトボードを必要数取り付けすること。
- 31 C型フックを5箇所以上取り付けすること。
- 32 車内を常時除染するオゾン発生装置を取り付けること。設置場所については当本部と打ち合わせをすること。
- 33 各種救急資機材用収納庫を構造上可能な限り取り付けすること。なお、当本部係員が不要と認めた場合はこの限りではない。
- 34 各種資機材収納庫等の取り付け位置及び個数等は事前に完成予想図（A3）を提出し、承認を得ること。

## 第5 無線機及び電話関係

- 1 取扱いが容易な場所に無線機用ブラケット及びアダプターBOXを取り付けること。
- 2 運転室及び患者室に埋め込み式無線スピーカー（オンオフスイッチ付き）を取り付けること。
- 3 インストルメントパネル中央左側に助手席無線送受話器用ブラケットを取り付けること。
- 4 患者室前向きシート上部にデジタル無線機用子機台座及びデジタル無線機送受話器用ブラケットを取り付けること。ただし取り付けを変更する場合は別途協議すること。
- 5 デジタル無線機用配線は、必要芯線を用いて全てに保護用チューブで取り付けること。
- 6 モニターBOX用アンテナは、ルーフトップアンテナでルーフ上部中央付近に取り付けること。なお、当本部の指定した業者が取り付けること。

と。

- 7 デジタル無線機用アンテナは、ルーフ上部に1.2m以上の間隔で2本取り付けすること。
- 8 デジタル無線機及びAVM関連の取り付け・設定を行うこと。
- 9 運転室中央部にモニターBOX（LCD）用台座を取り付け、患者室に6動態のAVM補助パネルを取り付けること。
- 10 ダッシュボード上部にGPSアンテナを取り付けること。
- 11 デジタル無線関係は、当本部の指示に全て従うこと。また、ちば北西部消防指令センター担当者の指示に全て従うこと。
- 12 携帯電話（2台）は防水機能付きの最新機種を納入すること。1台はスマートフォン、1台はSPモード携帯とすること。

## 第6 塗装及び記入・貼付け文字

- 1 車体の塗装は、標準仕様とする。また、赤色のライン（幅70mm全周）を施し、バックドアに赤色、両サイドに白色のライン（50mm）の高輝度反射テープを貼り付けること。
- 2 当本部の指定する記入・文字を貼り付けること。
- 3 受注者は、車体にカッティングシートを貼り付ける前に完成予想図（A3）を提出し、承認を得ること。
- 4 当本部が指定する資機材等全てに、所属名等（「野田消防」「野田消防署」「野田救急1」）を丸ゴシック体で打刻・記入すること。なお、カッティングシートの場合には防水処理をして当本部が指定する枚数を提出すること。（所属文字名・文字色・サイズは別途指示）

## 第7 補足

- 1 車両の納入期限は、令和9年2月28日とすること。ただし、天変地異、大規模な国際戦争、疫病その他当事者の責めに帰することのできない事由により納入期限内に車両を納入できない場合は、直ちに当本部に報告し、その対応を協議すること。
- 2 車両の納入場所は、野田市消防本部とすること。
- 3 車両は、全ての検査に合格したものを納入すること。
- 4 車両、部品及び付属品は、新規製品であること。
- 5 架装は全て当本部の解釈に従うこと。
- 6 納入時は、付属品の員数点検をすること。
- 7 保証期間は、完成車両納車後1年間とする。ただし、保証期間以降といえども設計又は工作不良に起因する不都合が生じた場合、無償で修繕又は良品と交換すること。
- 8 登録手続、車検（リサイクル料含む）、回送及び納車までの費用は、全て受注者が負担すること。ただし、自動車賠償責任保険及び自動車重量税は当本部が負担する。
- 9 携帯電話の設置にかかる費用は受注者が負担し、回線使用料は当本部が負担する。

- 10 取付品及び付属品、高度救命資機材・車両装備品及び取付品、その他の物品について、不明の場合は当本部係員に問い合わせを行うこと。
- 11 受注者は、公表した標準装備品及び付属品は、この仕様書で指定した物と重複する物以外は全て納入すること。
- 12 受注者は、仕様書及び別表で示す資機材等を協議しながら車両へ取り付け、医療機器等で固定金具・電源が必要なものは、全てに施すこと。
- 13 受注者は、仕様書に記載してある収納庫等が車両構造上取り付けできない場合は当本部係員と協議し、代替の収納庫等を必要数設置すること。
- 14 受注者は、納車後1年間行う無償点検時に当本部が指定する白金プラグ・オイル・油脂類及びオイルエレメントの交換（1回）も無償で行うこと。なお、1年間の法定点検（2回以上）及び整備費も無償とし、整備手帳等は無償と詳細を記載すること。
- 15 受注者は、納車車両の燃料を満量とすること。
- 16 自動車登録番号標は「野田83□ □ 1099」とすること。
- 17 本案件は、高度管理医療機器等販売・賃貸業許可を有していることが必要なため、入札時に、高度管理医療機器等販売・賃貸業許可を有していることが確認できる書類（写し）を提出すること。
- 18 車両の台数は1台とする。
- 19 同等品以上の申請があり、質疑書により同等品以上と認められた場合は、契約時の仕様書の品名・規格等が同等品以上の仕様に変更する場合があります。

## 第8 車両外観

